

平成17年度病害虫発生予察特殊報第1号の発令について

病害虫発生予察特殊報は、新たな病害虫の発生が認められたり、発生のしかたが例年と異なるなど、特異的な現象が認められたときに発令する情報です。

病名 : トルコギキョウ葉巻病  
病原ウイルス: *Tomato yellow leaf curl virus* (TYLCV)  
作物名 : トルコギキョウ

平成17年10月、高知県安芸市および芸西村の施設栽培トルコギキョウで株の萎縮、葉巻の症状が確認されました。高知県病害虫防除所においてPCR法で検定したところ、*Tomato yellow leaf curl virus*によるトルコギキョウ葉巻病であることが明らかとなりました。なお、本県ではTYLCVによるトマト黄化葉巻病は平成16年から発生しており、安芸市でも平成17年9月に確認されています。

病徴は、発病部位から上の節間が縮み、萎縮します。葉が小型化し、葉脈が隆起、葉表を内側にして巻きます。これらの症状により商品価値は著しく低下します。

本ウイルスはシルバーリーフコナジラミによって伝染します。汁液伝染、種子伝染、土壌伝染およびその他の害虫による媒介は確認されていません。

防除対策としては、発生ほ場での感染株の抜き取り・埋没処分と媒介虫であるシルバーリーフコナジラミの防除を徹底することが重要です。薬剤による防除のほか、施設の天窓や側窓に防虫ネットを張り、黄色粘着シートを利用する等、媒介虫の侵入防止と密度低下に努めてください。



生長点付近の萎縮症状



葉の小型化と巻きこみ症状